

優秀賞

小浜第二中学校2年

 島田和磨さん

●研究テーマ

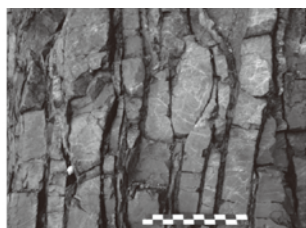
ふるさと小浜の大地を探る

動機

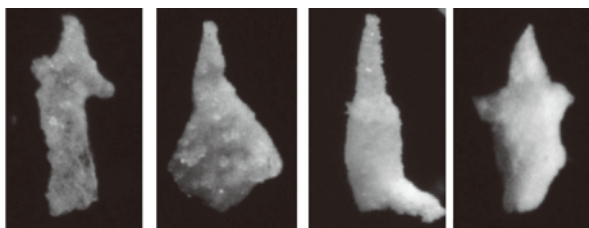
理科の学習で大地の変化について学んだことで、身近に見られる地層に興味を持った。自分の住んでいる小浜市で見られる地層にはどんな特徴があり、どのようにしてできたのか調べてみたいと思い本研究を行った。

内容

- 小浜市内7つの地域で、それぞれの地域がどんな地層でできているか、岩石の種類や含まれる化石について調査を行った。小浜地域に見られる地層は、主にチャート、石灰岩、緑色岩、れきを含む泥岩から構成され、多くの断層で分断されていることが分かった。
- 調査地域の地層をつくっている岩石や地層に含まれる化石について顕微鏡で調べた。石灰岩には、フズリナやサンゴなどの化石、チャートは放散虫など小さな化石を多く含んでいることが分かった。



層状チャート(小浜市青井)



層状チャートから見つかった放散虫(小浜市青井)

- 恐竜化石が見つまっている奥越地域(大野市)の地層を調べて、小浜地域の地層と比較したところ、地層を構成する岩石の種類や地層に含まれる化石の種類が小浜地域の地層と違うことが分かった。
- 調査結果から、小浜地域の地層は、古生代～中生代にかけて今の日本列島から離れた大洋の海底で堆積し、プレートの移動と沈み込みによって、積み重なってできた“付加体”の堆積物によって形成されたと考えられる。

まとめや感想

自分の住んでいる小浜市では化石は見つからないと思っていたが、身近に見られるチャートの地層にたくさんの化石が入っていることに驚いた。今回の研究では、小浜地域の地層の特徴や化石の概要について知ることができた。今後は、さらに調査地域を広げて化石の種類や年代についても詳しく調べていきたい。